

大阪港新島地区埋立事業及び大阪沖埋立処分場建設事業に係る

事後調査報告書

(平成30年8月分【護岸建設工事中・埋立中の共通調査①】)

【大気質、水質（一般項目）】

国土交通省 近畿地方整備局

大阪市港湾局

大阪湾広域臨海環境整備センター

目 次

I 事後調査の概要

1. 調査概要	I - 1
2. 工事の実施状況	I - 3
3. 調査結果の概要	I - 4

II 事後調査結果

1. 大気質	II - 1
2. 水質	II - 9

I 事後調査の概要

1. 調査概要

「大阪港新島地区埋立事業及び大阪沖埋立処分場建設事業に係る事後調査計画」に基づく平成 30 年 8 月（大気質、水質）の事後調査の概要は表－1 に、調査地点の位置は図－1 に示すとおりである。

表－1(1) 事後調査の概要（埋立地周辺における調査 大気質）

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
二酸化硫黄(SO ₂) 窒素酸化物(NO ₂ 、NO) 浮遊粒子状物質(SPM) 風向・風速	1点(南港中央公園局)	8月1日～31日	通年連続

表－1(2) 事後調査の概要（埋立地周辺における調査 水質（一般項目））

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
●生活環境項目 水素イオン濃度(pH) 化学的酸素要求量(COD) 溶存酸素量(DO) 全窒素(T-N) 全磷(T-P)	5点×2層 【1, 2, 3, 4, 5】 上層:海面下1m 下層:海底面上2m	8月7日	1回/月
●その他の項目 透明度 水温 塩分 濁度 浮遊物質量(SS) クロロフィルa			

【参考】（自主検査）

調査項目	調査範囲・地点	調査期間等	調査頻度
ノニルフェノール 直鎖アルキルベンゼンスルホン酸 及びその塩(LAS) 全亜鉛	5点 【1, 2, 3, 4, 5】 上層のみ調査	8月7日	1回/年

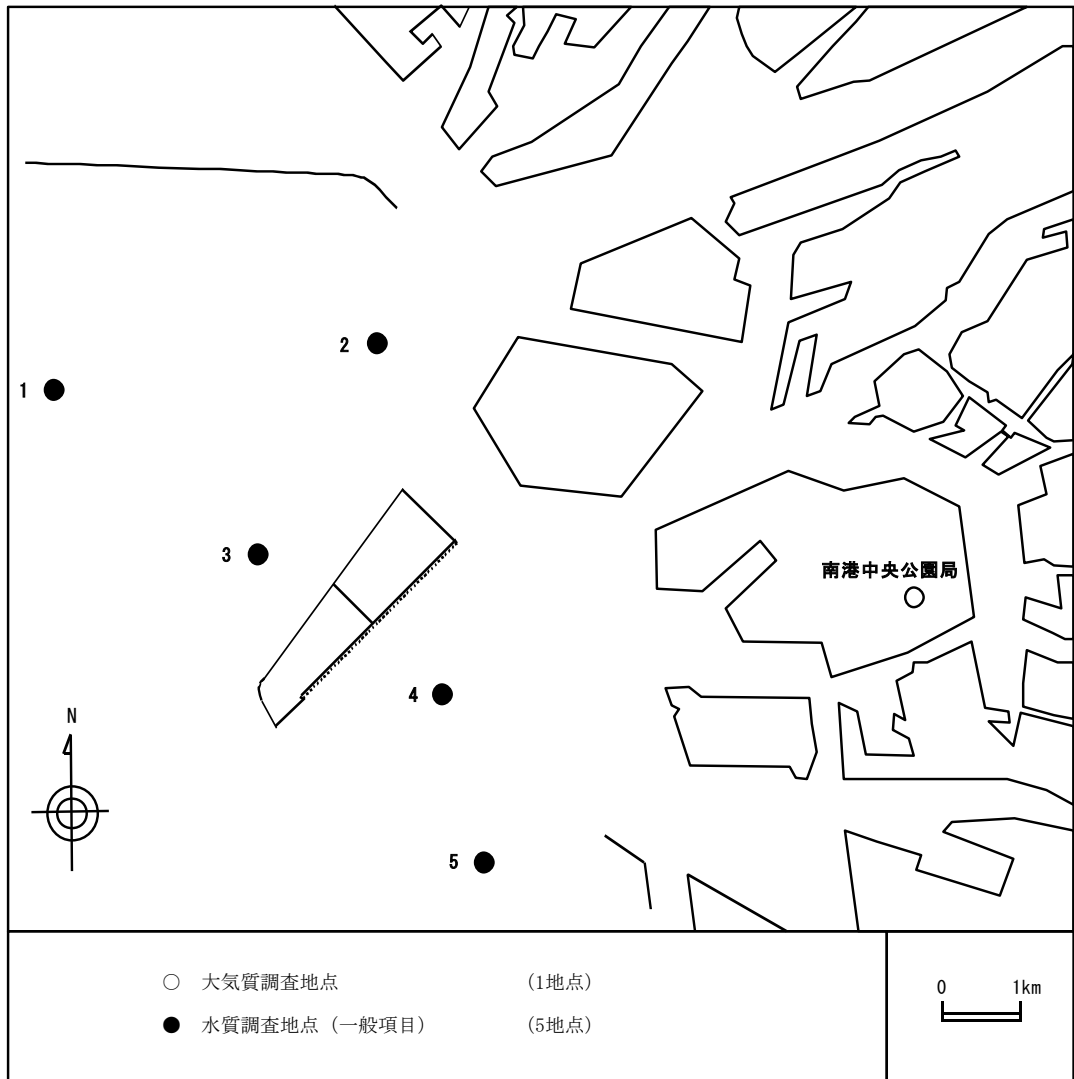
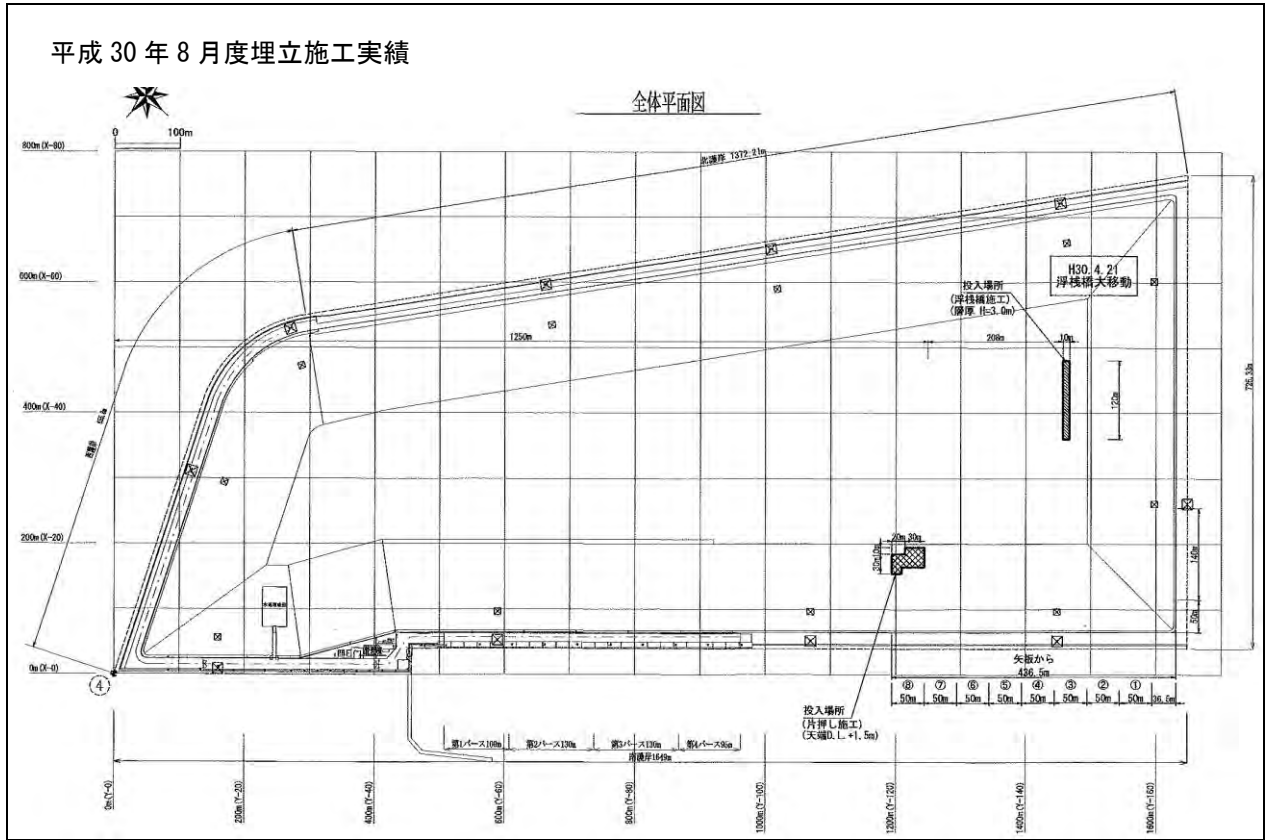


図-1 大気質・水質(一般項目)の調査地点

2. 工事の実施状況

平成 30 年 8 月の工事の実施状況は、図-2 に示すとおりである。



埋立量(m ³)	進捗率(%)
4,669,801	33.4

埋立容量(計画量) : 13,975,000 m³

図-2 工事の実施状況 (大阪沖処分場平面図)

3. 調査結果の概要

埋立地周辺における調査

(1) 大気質 [大気質様式第1号～8号]

1) 二酸化硫黄 (SO₂) 【環境基準値：日平均値：0.04ppm以下、1時間値：0.1ppm以下】

二酸化硫黄(SO₂)の月平均値は、0.004ppmであった。また、日平均値の最高値は0.007ppm、1時間値の最高値は0.020ppmであり、環境基準値を下回っていた。

2) 二酸化窒素 (NO₂) 【環境基準値：日平均値 0.04～0.06ppmのゾーン内またはそれ以下】

二酸化窒素(NO₂)の月平均値は、0.014ppmであった。また、日平均値の最高値は0.026ppmであり、環境基準の範囲内であった。

3) 浮遊粒子状物質 (SPM) 【環境基準値：日平均値 0.10mg/m³以下、1時間値：0.20 mg/m³以下】

浮遊粒子状物質 (SPM) の月平均値は、0.014mg/m³であった。また、日平均値の最高値は0.029mg/m³、1時間値の最高値は0.041mg/m³であり、環境基準値を下回っていた。

注：大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

(2) 水質

①一般項目 [水質様式第1号]

1) 水素イオン濃度 (pH) 【環境基準値：7.8以上8.3以下】

水素イオン濃度 (pH) は上層で8.4～8.6、下層で7.8～8.1であり、上層では全ての調査地点において環境基準値の範囲外であったが、下層では全ての調査地点において環境基準値の範囲内であった。

環境基準値の範囲外であった調査結果は、上層における調査地点1(8.5)、調査地点2(8.6)、調査地点3(8.4)、調査地点4(8.5)、調査地点5(8.4)であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果(平成12年度)は上層で7.7～8.6であり、この範囲内にあるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

2) 化学的酸素要求量 (COD) 【環境基準値：3mg/L以下】

化学的酸素要求量 (COD) は上層で2.7～3.8mg/L、下層で2.0～2.3mg/Lであり、上層では調査地点1、2、4、5において環境基準値を上回っていたが、下層では全ての調査地点において環境基準値を満たしていた。

環境基準値を超過した調査結果は、上層における調査地点1(3.7mg/L)、調査地点2(3.8mg/L)、調査地点4(3.1mg/L)、調査地点5(3.1mg/L)であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果(平成12年度)は上層で1.6～4.9mg/Lであり、この範囲内にあるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

3) 溶存酸素量 (DO) 【環境基準値：5mg/L以上】

溶存酸素量 (DO) は上層で7.2～8.8mg/L、下層で2.0～6.7mg/Lの範囲にあり、上層では

全ての調査地点において環境基準値を満たしていたが、下層では調査地点 2、3 において環境基準値を下回っていた。

環境基準値を下回っていた調査結果は、下層における調査地点 2 (2.0mg/L)、調査地点 3 (4.4mg/L) であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果 (平成 12 年度) は下層で 0.6~11mg/L であり、この範囲内にあるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

4) 全窒素 (T-N) 【環境基準値 : 0.6mg /L 以下】

全窒素 (T-N) は上層で 0.38~0.81mg/L、下層で 0.19~0.41mg/L の範囲にあり、上層では調査地点 2 において環境基準値を上回っていたが、下層では全ての調査地点において環境基準値を満たしていた。

環境基準値を超過した調査結果は、上層における調査地点 2 (0.81mg/L) であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果 (平成 12 年度) は上層で 0.46~2.1mg/L であり、この範囲内にあるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

5) 全燐 (T-P) 【環境基準値 : 0.05mg /L 以下】

全燐 (T-P) は上層で 0.051~0.089mg/L、下層で 0.025~0.083mg/L の範囲にあり、上層では全ての調査地点において環境基準値を上回っており、下層では調査地点 1、2、3 において環境基準値を上回っていた。

環境基準値を超過した調査結果は、上層における調査地点 1 (0.071mg/L)、調査地点 2 (0.089mg/L)、調査地点 3 (0.062mg/L)、調査地点 4 (0.081mg/L)、調査地点 5 (0.051mg/L)、下層における調査地点 1 (0.081mg/L)、調査地点 2 (0.083mg/L)、調査地点 3 (0.059mg/L) であった。事業実施前の当海域における水質調査の結果 (平成 12 年度) は上層で 0.021~0.15mg/L、下層で 0.020~0.25mg/L であり、この範囲内にあるため、本事業の影響によるものではないと考えられる。

6) 濁度

濁度は上層で 1~2 度(カリン)、下層で 3~5 度(カリン)の範囲であった。

7) 浮遊物質量 (SS)

浮遊物質量 (SS) は上層で 3~6mg/L、下層で 2~3mg/L の範囲であった。

8) クロコフィル a

クロコフィル a は上層で 18~39 μ g/L、下層で 0.9~3.7 μ g/L の範囲であった。

【参考】ニルフェノール、直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩 (LAS)、全亜鉛

ニルフェノールは報告下限値未満 (<0.00006 mg/L)、LAS は報告下限値未満 (<0.0006mg/L)、全亜鉛は 0.002~0.003 mg/L の範囲にあり、全ての調査地点において環境基準値を満たしていた。

《 参 考 》

■環境基準値等（本報告関係分）

1. 環境基準

(1)大気質

項目	基準値
二酸化硫黄 (SO ₂)	1時間値の1日平均値が0.04ppm以下であり、かつ、 1時間値が0.1ppm以下であること。
二酸化窒素 (NO ₂)	1時間値の1日平均値が0.04ppmから0.06ppmまでのゾーン内又はそれ以下であること。
浮遊粒子状物質 (SPM)	1時間値の1日平均値が0.10mg/m ³ 以下であり、かつ、 1時間値が0.20mg/m ³ 以下であること。

(2)水質

①水質（海域）

類型	項目	基準値
B	水素イオン濃度（pH）	7.8以上8.3以下
	化学的酸素要求量（COD）	3mg/L以下
	溶存酸素量（DO）	5mg/L以上
	n-ヘキサン抽出物質（油分等）	検出されないこと
III	全窒素（T-N）	0.6mg/L以下
	全磷（T-P）	0.05mg/L以下

注) 1. 水素イオン濃度、化学的酸素要求量、溶存酸素量及びn-ヘキサン抽出物質の基準値は日間平均値、全窒素及び全磷の基準値は年間平均値である。

2. 化学的酸素要求量の環境基準の評価方法については、次のとおり定められている。

公共用水域における環境基準（BOD又はCOD）の評価方法について（昭和52年環水管52号）

(1) 環境基準の水域類型を指定する際の水質測定結果については、年間を通じた日間平均値の全データのうち、あてはめようとする類型の基準値を満たしているデータ数を占める割合をもって評価するが、その割合が75%以上ある場合、その基準に適合しているものと評価する。

なお、環境基準値と比較して水質の程度を判断する場合は、以下の方法により求めた「75%水質値」を用いるものとする。

75%水質値・・・年間の日平均値の全データをその値の小さいものから順に並べ0.75×n番目（nは日間平均値のデータ数）のデータ値をもって75%水質値（0.75×n番目が整数でない場合は端数を切り上げた整数番目の値をとる）とする。

(2) 環境基準点における水質測定結果の環境基準に対する適合性についての判断方法について
環境基準点において、年間を通じて環境基準に適合していたか否かを判断する場合には、(1)と同様に年間を通じた日間平均値の全データのうち75%以上のデータが基準値を満足している基準点を適合しているものと判断する。

(3) 複数の環境基準点を持つ水域における水質測定結果の環境基準に対する適合性についての判断方法について

これについては、当該環境基準類型あてはめ水域内のすべての環境基準地点において環境基準に適合している場合に、当該水域が環境基準を達成しているものと判断する。

2. 事業実施前調査結果（平成12年度・水質（一般項目））

項目	区分	事業実施前調査 (平成12年度・調査地点1～5)	
		最小値 ～ 最大値 (m/n)	平均値 (m/n)
水素イオン濃度 (pH) [-]	上層	7.7 ～ 8.6 (13/60)	-
	下層	7.8 ～ 8.3 (0/60)	-
化学的酸素要求量 (COD) [mg/L]	上層	1.6 ～ 4.9 (34/60)	3.2 ～ 3.9 (5/5)
	下層	1.2 ～ 3.6 (4/60)	2.0 ～ 2.2 (0/5)
溶存酸素量 (DO) [mg/L]	上層	5.2 ～ 14 (0/60)	8.6 ～ 9.8
	下層	0.6 ～ 11 (14/60)	6.2 ～ 6.9
全窒素 (T-N) [mg/L]	上層	0.46 ～ 2.1	0.91 ～ 1.1 (5/5)
	下層	0.29 ～ 0.82	0.44 ～ 0.49 (0/5)
全磷 (T-P) [mg/L]	上層	0.021 ～ 0.15	0.061 ～ 0.098 (5/5)
	下層	0.020 ～ 0.25	0.038 ～ 0.063 (1/5)

- 注) 1. 「最大～最小」の値は、調査地点1～5における全調査地点の最小値と最大値を示す。
 2. m: 環境基準値を満たしていないデータ数、n: 総データ数を示す。
 3. 「平均値」の値は、各調査地点における年平均値の最小～最大を示しているが、化学的酸素要求量の「平均値」は各調査地点における75%値の最小～最大を示す。

II 事後調查結果

大気質測定結果総括表 [平成30年8月分]

項 目		測 定 局
		南港中央公園
二酸化硫黄	有効測定日数（日）	29
	日平均値が0.04ppmを超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	721
	1時間値が0.1ppmを超えた時間数（時間）	0
二酸化窒素	有効測定日数（日）	31
	日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数（日）	0
	日平均値が0.06ppmを超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	740
	1時間値が0.1ppm以上0.2ppm以下の時間数（時間）	0
	1時間値が0.2ppmを超えた時間数（時間）	0
浮遊粒子状物質	有効測定日数（日）	31
	日平均値が0.10mg/m ³ を超えた日数（日）	0
	測定時間数（時間）	740
	1時間値が0.20mg/m ³ を超えた時間数（時間）	0
備 考		

注:大気質の調査結果(大阪市環境局による常時測定結果)は、現時点では未確定値である。

二酸化硫黄測定結果 [平成30年8月分]

測定局		南港中央公園	
項目		日平均値(ppm)	1時間値の最高値(ppm)
日	1 (水)	0.006	0.013
	2 (木)	0.004	0.009
	3 (金)	0.004	0.011
	4 (土)	0.004	0.014
	5 (日)	0.006	0.015
	6 (月)	0.004	0.017
	7 (火)	0.004	0.010
	8 (水)	0.005	0.009
	9 (木)	0.004	0.009
	10 (金)	0.003	0.009
別	11 (土)	0.004	0.008
	12 (日)	0.006	0.009
	13 (月)	0.003	0.006
	14 (火)	0.007	0.020
	15 (水)	0.004	0.013
	16 (木)	0.002	0.008
	17 (金)	0.000	0.002
	18 (土)	0.002	0.007
	19 (日)	0.002	0.005
	20 (月)	0.002	0.009
値	21 (火)	0.004	0.016
	22 (水)	(0.005)	(0.012)
	23 (木)	(0.001)	(0.003)
	24 (金)	0.001	0.002
	25 (土)	0.002	0.005
	26 (日)	0.003	0.005
	27 (月)	0.005	0.012
	28 (火)	0.007	0.018
	29 (水)	0.006	0.017
	30 (木)	0.003	0.007
	31 (金)	0.003	0.007
有効測定日数 (日)		29	
測定時間 (時間)		721	
月平均値 (ppm)		0.004	
日平均値の最高値 (ppm)		0.007	
1時間値の最高値 (ppm)		0.020	
1時間値が0.1ppmを超えた時間数 (時間)		0	
日平均値が0.04ppmを超えた日数 (日)		0	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象しない。
 2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

一酸化窒素測定結果 [平成30年8月分]

測定局		南港中央公園	
項目		日平均値(ppm)	1時間値の最高値(ppm)
日	1 (水)	0.007	0.034
	2 (木)	0.003	0.010
	3 (金)	0.004	0.033
	4 (土)	0.001	0.004
	5 (日)	0.001	0.002
	6 (月)	0.001	0.010
	7 (火)	0.001	0.004
	8 (水)	0.002	0.004
	9 (木)	0.005	0.018
	10 (金)	0.004	0.015
別	11 (土)	0.002	0.014
	12 (日)	0.003	0.008
	13 (月)	0.004	0.011
	14 (火)	0.010	0.039
	15 (水)	0.006	0.015
	16 (木)	0.004	0.017
	17 (金)	0.001	0.004
	18 (土)	0.001	0.005
	19 (日)	0.000	0.001
	20 (月)	0.002	0.007
値	21 (火)	0.009	0.033
	22 (水)	0.011	0.044
	23 (木)	0.004	0.010
	24 (金)	0.002	0.009
	25 (土)	0.004	0.015
	26 (日)	0.002	0.006
	27 (月)	0.006	0.027
	28 (火)	0.003	0.018
	29 (水)	0.005	0.025
	30 (木)	0.004	0.011
	31 (金)	0.005	0.020
有効測定日数 (日)		31	
測定時間 (時間)		740	
月平均値 (ppm)		0.004	
日平均値の最高値 (ppm)		0.011	
1時間値の最高値 (ppm)		0.044	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象しない。

2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

二酸化窒素測定結果 [平成30年8月分]

測 定 局		南港中央公園	
項 目		日平均値(ppm)	1時間値の最高値(ppm)
日	1 (水)	0.018	0.040
	2 (木)	0.015	0.022
	3 (金)	0.018	0.038
	4 (土)	0.026	0.048
	5 (日)	0.015	0.028
別	6 (月)	0.017	0.040
	7 (火)	0.017	0.028
	8 (水)	0.017	0.025
	9 (木)	0.016	0.027
	10 (金)	0.018	0.035
	11 (土)	0.014	0.029
	12 (日)	0.012	0.016
	13 (月)	0.010	0.014
	14 (火)	0.014	0.025
	15 (水)	0.011	0.018
値	16 (木)	0.007	0.011
	17 (金)	0.010	0.018
	18 (土)	0.015	0.025
	19 (日)	0.007	0.014
	20 (月)	0.018	0.029
	21 (火)	0.017	0.029
	22 (水)	0.010	0.020
	23 (木)	0.006	0.012
	24 (金)	0.006	0.012
	25 (土)	0.009	0.015
	26 (日)	0.007	0.009
	27 (月)	0.015	0.031
	28 (火)	0.021	0.047
	29 (水)	0.014	0.022
	30 (木)	0.010	0.018
	31 (金)	0.012	0.024
有効測定日数 (日)		31	
測定時間 (時間)		740	
月平均値 (ppm)		0.014	
日平均値の最高値 (ppm)		0.026	
1時間値の最高値 (ppm)		0.048	
1時間値が0.2ppmを超えた時間数 (時間)		0	
1時間値が0.1ppm以上0.2ppm以下の時間数 (時間)		0	
日平均値が0.06ppmを超えた日数 (日)		0	
日平均値が0.04ppm以上0.06ppm以下の日数 (日)		0	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象しない。

2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

窒素酸化物（NO+NO₂）測定結果 [平成30年8月分]

測定局		南港中央公園		
項目		日平均値		1時間値の最高値 (ppm)
		(ppm)	NO ₂ / (NO+NO ₂) (%)	
日	1 (水)	0.026	71.3	0.055
	2 (木)	0.019	82.7	0.030
	3 (金)	0.022	81.9	0.056
	4 (土)	0.027	95.5	0.049
	5 (日)	0.016	95.8	0.029
	6 (月)	0.019	93.7	0.050
	7 (火)	0.018	93.3	0.031
	8 (水)	0.019	91.4	0.029
	9 (木)	0.021	76.7	0.043
	10 (金)	0.022	82.4	0.046
別	11 (土)	0.016	85.1	0.043
	12 (日)	0.015	81.0	0.022
	13 (月)	0.014	69.2	0.024
	14 (火)	0.024	58.4	0.053
	15 (水)	0.016	65.4	0.032
	16 (木)	0.011	66.3	0.028
	17 (金)	0.012	90.3	0.021
	18 (土)	0.017	92.5	0.025
	19 (日)	0.007	96.6	0.014
	20 (月)	0.020	90.1	0.034
値	21 (火)	0.026	64.2	0.057
	22 (水)	0.021	47.1	0.056
	23 (木)	0.011	59.1	0.020
	24 (金)	0.009	72.2	0.021
	25 (土)	0.013	71.3	0.030
	26 (日)	0.009	79.6	0.013
	27 (月)	0.021	72.1	0.038
	28 (火)	0.024	85.7	0.049
	29 (水)	0.019	72.8	0.047
	30 (木)	0.014	70.6	0.028
	31 (金)	0.017	72.3	0.031
有効測定日数 (日)		31		
測定時間 (時間)		740		
月平均値 (ppm)		0.018		
日平均値の最高値 (ppm)		0.027		
1時間値の最高値 (ppm)		0.057		
月平均値 NO ₂ / (NO+NO ₂) (%)		78.2		

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば()書にする。その場合、日平均値の集計の対象としない。

2. NO₂ / (NO+NO₂)の算定方法は、下記のとおりである。

$$\text{日(月)平均値NO}_2 / (\text{NO} + \text{NO}_2) =$$

(NO及びNO₂が同時測定されている時間のNO₂濃度の日(月)間にわたる総和) /

(NO及びNO₂が同時測定されている時間のNO+NO₂濃度の日(月)間にわたる総和)

3. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

浮遊粒子状物質測定結果 [平成30年8月分]

測定局		南港中央公園	
項目		日平均値(mg/m ³)	1時間値の最高値(mg/m ³)
日	1 (水)	0.019	0.025
	2 (木)	0.021	0.023
	3 (金)	0.023	0.035
	4 (土)	0.017	0.025
	5 (日)	0.029	0.041
別	6 (月)	0.023	0.038
	7 (火)	0.011	0.015
	8 (水)	0.011	0.014
	9 (木)	0.008	0.013
	10 (金)	0.012	0.030
	11 (土)	0.025	0.040
	12 (日)	0.011	0.015
	13 (月)	0.010	0.016
	14 (火)	0.012	0.020
	15 (水)	0.008	0.016
値	16 (木)	0.008	0.011
	17 (金)	0.007	0.010
	18 (土)	0.010	0.015
	19 (日)	0.012	0.018
	20 (月)	0.009	0.017
	21 (火)	0.009	0.017
	22 (水)	0.008	0.012
	23 (木)	0.006	0.010
	24 (金)	0.011	0.018
	25 (土)	0.012	0.017
	26 (日)	0.010	0.013
	27 (月)	0.014	0.022
	28 (火)	0.023	0.035
	29 (水)	0.023	0.032
	30 (木)	0.009	0.019
	31 (金)	0.015	0.025
有効測定日数 (日)		31	
測定時間 (時間)		740	
月平均値 (mg/m ³)		0.014	
日平均値の最高値 (mg/m ³)		0.029	
1時間値の最高値 (mg/m ³)		0.041	
1時間値が0.20mg/m ³ を超えた時間数 (時間)		0	
日平均値が0.10mg/m ³ を超えた日数 (日)		0	

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象しない。
 2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

気象観測結果（風向・風速）[平成30年8月分]

測定局		南港中央公園			
項目		風速			最多 風向 16方位
		平均 風速 (m/s)	最大風速		
			風速 (m/s)	風向 16方位	
日	1 (水)	0.6	1.3	W, W	WNW
	2 (木)	0.6	1.4	WSW	W
	3 (金)	0.6	1.1	WSW	W
	4 (土)	0.5	1.0	WSW	CALM
	5 (日)	0.5	1.1	WSW	W, CALM
	6 (月)	0.7	1.7	N	N
	7 (火)	0.9	2.0	N	N
	8 (水)	0.8	1.6	NNE	NW
	9 (木)	0.6	1.3	WNW, N	CALM
	10 (金)	0.5	1.2	WSW	CALM
別	11 (土)	0.6	1.3	W	WNW
	12 (日)	0.5	1.2	WNW, WNW	CALM
	13 (月)	0.6	1.3	WSW	CALM
	14 (火)	0.4	1.6	W	CALM
	15 (水)	0.5	1.5	E	CALM
	16 (木)	0.9	1.5	WSW, WSW	WSW
	17 (金)	1.2	2.0	NNE	N
	18 (土)	0.6	1.1	NNE, ENE	W
	19 (日)	0.9	1.7	E	ENE
	20 (月)	1.1	1.9	ENE	ENE
値	21 (火)	0.7	1.8	ESE	ESE
	22 (水)	1.5	2.9	E	E
	23 (木)	3.0	4.7	ESE	E
	24 (金)	1.8	2.8	S	SSW
	25 (土)	1.0	1.7	SSW	WSW
	26 (日)	0.9	2.0	WSW	WSW
	27 (月)	0.8	1.9	SW	CALM
	28 (火)	0.7	1.5	SW	WSW
	29 (水)	1.0	2.1	WSW	WNW
	30 (木)	1.1	2.6	WSW	WSW
	31 (金)	1.0	1.7	SW	WSW
測定時間 (時間)		744			
月平均風速 (m/s)		0.9			
月最大風速 (m/s)		4.7			
月最多風向 (16方位)		WNW			

注：1. 1日の測定時間が20時間未満であれば（ ）書にする。その場合、日平均値の集計の対象しない。

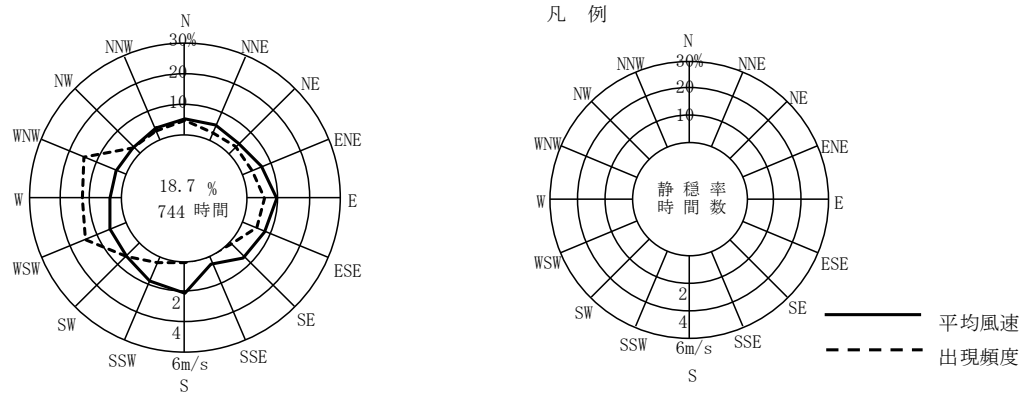
2. 大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

大気質様式第8号（埋立地関連）

風向別出現頻度及び風向別平均風速 [平成30年8月分]

項目 \ 方位	NNE	NE	ENE	E	ESE	SE	SSE	S	SSW	SW	WSW	W	WNW	NW	NNW	N	CALM	測定時間数
度数	21	24	26	40	35	5	1	4	17	44	106	94	107	22	24	35	139	744
頻度 (%)	2.8	3.2	3.5	5.4	4.7	0.7	0.1	0.5	2.3	5.9	14.2	12.6	14.4	3.0	3.2	4.7	18.7	-
平均風速 (m/s)	1.1	0.9	1.3	1.9	1.5	1.3	0.5	2.0	1.7	1.2	1.1	0.7	0.7	0.6	0.8	1.1	0.2	-

測定局：南港中央公園局 風向風速計高さ：14.2m



注：大気質の調査結果（大阪市環境局による常時測定結果）は、現時点では未確定値である。

風配図 [平成30年8月分]

水質様式第1号

水質調査結果（一般項目）[平成30年8月分]

調査日：平成30年8月7日

項目	調査点					最小値	～	最大値	平均値
	1	2	3	4	5				
時刻	9:10	9:03	9:25	10:04	10:20	-			-
透明度 [m]	2.0	1.3	2.0	2.1	2.0	1.3	～	2.1	1.9
水温 [°C]	26.6	26.2	26.2	27.0	26.3	26.2	～	27.0	26.5
	22.3	23.2	22.5	23.1	23.3	22.3	～	23.3	22.9
塩分 [-]	25.8	27.7	27.2	25.2	28.7	25.2	～	28.7	26.9
	31.6	31.6	31.6	31.7	31.6	31.6	～	31.7	31.6
濁度 [度(カリン)]	2	2	2	2	1	1	～	2	2
	5	5	5	4	3	3	～	5	4
浮遊物質 (SS) [mg/L]	6	6	3	4	3	3	～	6	4
	3	3	3	2	3	2	～	3	3
水素イオン濃度 (pH) [-]	8.5	8.6	8.4	8.5	8.4	8.4	～	8.6	-
	7.8	7.8	7.9	8.1	8.0	7.8	～	8.1	-
化学的酸素要求量 (COD) [mg/L]	3.7	3.8	2.7	3.1	3.1	2.7	～	3.8	3.3
	2.3	2.2	2.2	2.0	2.1	2.0	～	2.3	2.2
溶存酸素量 [mg/L]	7.2	7.2	7.3	8.3	8.8	7.2	～	8.8	7.8
	5.2	2.0	4.4	6.7	6.2	2.0	～	6.7	4.9
(DO) 飽和度 [%]	104	104	106	120	129	104	～	129	113
	72	28	61	94	87	28	～	94	68
全窒素 (T-N) [mg/L]	0.53	0.81	0.42	0.56	0.38	0.38	～	0.81	0.54
	0.30	0.41	0.28	0.21	0.19	0.19	～	0.41	0.28
全磷 (T-P) [mg/L]	0.071	0.089	0.062	0.081	0.051	0.051	～	0.089	0.071
	0.081	0.083	0.059	0.025	0.034	0.025	～	0.083	0.056
クロロフィル a (chl. a) [μ g/L]	26	39	19	18	26	18	～	39	26
	0.9	1.0	3.7	1.2	1.2	0.9	～	3.7	1.6

注) 上段：上層（海面下1m）
下段：下層（海底面上2m）

特記事項

【参考】（自主検査）

水質調査結果

調査日：平成30年8月7日

項目	調査点	1	2	3	4	5
ノニルフェノール	[mg/L]	<0.00006	<0.00006	<0.00006	<0.00006	<0.00006
報告下限値 0.00006						
直鎖アルキルベンゼンスルホン酸 及びその塩 (LAS)	[mg/L]	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006
報告下限値 0.0006						
亜鉛	[mg/L]	0.003	0.003	0.003	0.002	0.002
報告下限値 0.001						

項目	環境基準値
ノニルフェノール [mg/L]	0.001
直鎖アルキルベンゼンスルホン酸 及びその塩 (LAS) [mg/L]	0.01
亜鉛 [mg/L]	0.02